

指導や援助のおかげである。

幸いにも太平洋戦争の末期に、豊後水道に侵入する敵機迎撃のための機関砲座の珍らしい遺跡もあり、来年の四月には満開のツツジの観賞をお忘れにならないよう、観光登山をおすすめする次第である。」

(五六・六・三夕刊大分合同新聞)

羽柴先輩さようなら

穂積英雄

(会員・佐伯市藤原)

三月も末となり龍護寺観音堂の裏山の山桜が今を盛りと咲き乱れています。土堤を通る毎に羽柴先輩の思い出が私の脳裏を離れません。

先生が不快で南海病院へ入院と聞いた時、私も西田病院に入院中でした。そのうち退院されたと聞いてお見舞いにも行かず荏苒と日を過ごすうち、上尾病院へ再入院、面会謝絶との事で御会いせぬまま訃音を聞いて啞然としてしまいました。先生とは山口市への研修旅行が最後となっていました。誠に残念の極みです。

上野村(弥生町)石丸に生まれた私は、父の仕事の都合で中野村(本匠村)中野小学校で六年と高等科を卒業しました。先生は三年先輩でした。先生と最初の出会いは、弟さん道明君と大分工業受験のため大分市に行き、大層親切にお世話を頂きました。其頃先生は師範学校の炊事委員長を務められ、大人気であった事を知りました。翌々年私が入学した時は、二年前卒業されてたしか東雲小学校へ赴任されていたように思います。時々大分に出られ教会へ同伴して下さったりしました。教職に就いてからも時々お訪ねして御教示を受けました。

先輩のお人柄については、皆様が述べて居られますので省きますが、キリストの使徒の再来のような方で愛想が良く笑顔が焼き付いて離れません。誠実で人の面倒見がよく、とことん人の世話をされました。益田学従兄の「拓本展示会」を死去の前年に史談会主催で開いて頂いた事、墓石に記念の碑文起草して下さいました。その頃先生は病軀を推して遂行された事を思うと感激の涙が出て仕方がありません。深くお礼申し上げます。

先生の唯一人の弟さん道明君と私は同年で、よく往き来して、仲のよい遊び友達でした。私が師範三年の春の

満鮮旅行の途次、京城の森書店に居られ京城駅で再会を喜び合いリング一籠を頂いて級友とおいしく食べた事を忘れません。程なく大阪の関西大学に入学、成績優秀で卒業後は渡米まで決定していたのに卒業の直前、靴ずれから敗血症になり他界されました。肉親の縁の薄い先生

薩摩半島研修旅行記

五月六日(木)——八日(土)

探訪地

- 六日 国分市(大隅国分寺跡)——隼人町(隼人塚)——
鹿児島市(福昌寺跡島津墓地)——指宿温泉泊
- 七日 開聞町(枚聞神社)——坊津町(歴史民族資料館・
一乗院跡・密貿易屋敷)——知覧町(武家屋敷・特
攻基地跡) 川辺町(清水磨崖仏塔群)——加世田市
(六地藏塔)——吹上温泉泊
- 八日 東市来町(陳寿官陶苑)——郡山町(花尾神社・田
の神・川田堂園供養塔群)——一路佐佑へ

の御悲嘆如何ばかりであった事かと推察し、此の時ほど人生の無情を感じた事はありません。道明君在りし日の記念にと愛読書を戴きました。

ここに永年にわたる御教示、御愛顧を深謝申し上げます。先輩の御冥福を祈念してお別れのことばを申し上げます。

約七百年にわたる島津氏の支配下に、一独立国の観さえあった薩摩の歴史探訪は、史談会の研修部を中心に衆知を集めて計画立案しただけに、参加会員は特色のある薩摩の文化財や風物のすばらしさに感動し、十分に満足した。コースは運転手さんもガイドさんも未知の地、道案内は特に参加された軸丸会員が主にあたった。

参加会員が二十一名と少いことは残念であった。執行部は最悪の場合には中止もと考えたが、大分バスの特別のお計いによって、大型バスでゆっくり旅を楽しむことができた。改めて大分バスの御好意に感謝申し上げます。報告は読むよりも見た方がと考えて、主な探訪地の写真の一部を掲げた。紙数の都合で、説明不足の分は御許しを請う。